



清水ヒデキ

豪援隊隊長・

弁護士・移民コンサルタント
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

豪援隊かわら版

<今月のジョーク その1 > ケンカ

少年「おまわりさん、早く来て！」

お母さんの留守中に、よそのおじさんがお父さんとケンカしてるの。」

警官「よしわかった。案内しなさい。」

少年「あれです早く！ボクのお父さんが殺されちゃう。」

警官「なるほど。ところで、どっちが君のお父さんなの？」

少年「ボク、分からない。それがケンカの原因なんです。」

(ジョーク集より)

<今月の視点>

今月の話題といえば、間違いなく世界中で大騒ぎのワールドカップではないでしょうか。日本代表もオーストラリア代表も残念な結果に終わりましたが、それも所謂「世界の壁」ということでしょうか。そんなこんなwで今月の視点です。

1. W杯抗争

W杯中は、筆者の家庭は異様な緊張感があります。何を隠そう、筆者の奥さんはオーストラリア人ですが、彼女のお父さんはイタリア、お母さんはイギリスからの移民。そして筆者は日本人。子供は日本とオーストラリアの二重国籍。応援する先はたくさんあるのですが、それぞれの国同士が対戦するときは、どちらの応援をするのかの声明文を発表しなければならず、これは一種のパワハラを思わせるような事態です。そうです、W杯予選、イギリス対イタリアの試合、どちらを応援しても角が立つ。しかも、サッカーは人を熱中させるだけに、めったなこととも言えません。

2. 日本代表

日本代表の試合にがっかりしたという声が多く聞かれました。当方、それほどサッカー好きということではありませんが、国を代表してプレイする選手たちはしっかり応援させていただきました。素人目の判断で申し訳ないのですが、見るからに「体力の差」を感じました。サッカーだけでなく、ラグビーもそうですが、接触スポーツは体の大きさとスピードがものを言います。やはり、アジア人の技術力も他国選手の根本的な体力の違いにはかなわなかったように見受けました。それを考えると外人レスラーをばたばたとなぎ倒していた力道山はもっとすごい、いやモハメド・アリと対戦していたアントニオ猪木は、それ以上か。。。

3. オーストラリア代表

オーストラリア代表にはよくやったという声が多く聞かれました。オーストラリア国民のほとんどは予選を通るとは思っていなかったもので、W杯への出場、そしていいプレイを見せてくれたことに単純に「よくやった、Well done!」の賞賛を送っていたようです。日本代表選手にも、よく頑張ったとエールを送ります。

4. コモンウェルスゲーム

次に盛り上がるイベントと言えば、オーストラリアではミニオリンピックともいえるコモンウェルスゲームが7月23日からスコットランドのGlasgowで開催されます。今回は何とゴールドコースト、これも楽しみです。

<ビザ新着情報> 2014年7月改正

その1. ビザ申請費用

通常、毎年7月の年度初めには値上げとなる申請費用ですが、今年後は据え置きとなりました。昨年度に、必要以上に値上げをしたところですので当然と言えば、当然ですが、いい知らせです。

その2. 技術能力職種リスト改正(SOL)

7月1日より技術能力職種リスト(SOL)が改正となります。現在のリストに記載されている職種との入れ替えがあるのではと思われていましたが、最終的にはシェフ、レンガ積み職人、タイル職人の3職種が付け加えられたのみで、入れ替えはありませんでした。このところ、会計士がなくなるのではという話がちらほら出ていましたが、それも当分はなくなりました。

その3. ETAからの学生ビザ申請

巷のうわさでは、ETAで入国した際には国内にて学生ビザの申請ができなくなると噂されていましたが、そのようなことはないと言われ、移民局が噂の否定をしました。

その4. フォーム 80

ENS/RSMSにおいて、フォーム 80 の提出はケースごとの判断になり、必ずしも必要な書類ではないという返答が移民局からありました。しかし、申請内容として後日必要とされると判断される場合には、申請の迅速化を兼ねて事前に用意することが進められるということです。

その5. サブクラス 485 卒業者ビザミステリー

移民法令 485.223 条によれば、申請時点で申請者はスキルアセスメントの提出が必要なものとなっているが、485.224 条で申請時に合格を受けたスキルアセスメントが必要となっている。この矛盾は移民局ポリシーにて、485.223 条が正しいとなっているが、改正されない不思議ミステリー。

<ジョーク その2> ホテル「紫陽花」

カップルがデートの通り道でホテルの看板を見かけました。
女: (へえ、ホテル「アジサイ」か。この季節に気の利いた可愛い名前。)

男: (おっ、ホテル「しょうか」、なんて気の利いた名前だ。)

(ジョーク集より)

<今月のキャンペラお茶の間劇場>

会社の来年度の予算を社員たちに理解してもらおうと一生懸命の、アボット社長とその奥様であり会社の経理もこなすホキ子夫人。そんな二人の今月の会話です。

夫：「ああ、こんなに頑張っているのに、来年度の予算案の理解が社員から得られないよ。何で、みんなこんなに理解がないのかなあ。」

妻：「あなた、何を言っているの。社員には目先のことばかりこだわるなど説得しなければ駄目と言ったじゃないの。今までの経費垂れ流しの前任者たちとは違うところを見せないとだめでしょう。」

夫：「ああ、努力は続けるけど。。。ところで、前任者が残っていたカーボン排出経費は廃止する方向で、組合の目の上のたんこぶの波間(パーマー)のやつも同意しそうだ。いろいろな条件を出してるけど、たぶん何とかなりそうだ。」

妻：「良かったじゃないの。波間さんも派手にメディアに露出してああでもないと言っているみたいだけど、元々異業種の人なんだから、あなたがきっちりこの業界のしきたりみたいなものを見せ付けなければ駄目よ。」

夫：「分かってるよ、だけど最近波間のやつ、ウチの専務の丸込(マルコム)と仲良くしているらしいんだ。丸込専務がオレを引き釣りおろすことを画策しているなんて、話も入ってくるんだが。。。」

妻：「あなた、それは大丈夫。その点は私が丸込専務の動きをしっかりと把握しておきますから、あなたはとにかく自分の仕事に集中してください！」

夫：「分かった。分かった。ホキ子お前だけが頼りだ。」
(と言いながら立ち去る夫) (右上に続く→)

妻：(電話をどこかかけにかけている。相手が出たのか、小声でなにやら)「丸込さん、主人の動きはこちらでうまくコントロールしておくから、そっちの方はうまくやっておいてよ。」

何やら風雲急を告げる、キャンペラお茶の間劇場。この続きは、また次号で。

(注：これはあくまでもフィクションです。)

<ジョーク その3> 店番

あるユダヤ人商人が臨終の床にあって言った。

「愛する我が妻は居るか。」

「ええ、ここに居るわ。」

「愛する息子は居るのか。」

「ここに居るよ、父さん。」

「・・・娘は。」

「ここに居るわ。お父さん。」

その瞬間、老いた商人はがばりと起きあがって叫んだ。

「なんだって！？それじゃ一体誰が店番をやってるんだ！」

(ジョーク集より)

< 今月の名言 >

今月はW杯にちなんでサッカー選手の残した名言です。

「ミスを恐れてはいけません。リスクを冒すことによって、誰も真似できないファンタジーなプレーが生まれるんだ。」

(デル・ピエロ)

「限界には、限界はありません。限界の定義は何だと思えますか。限界は個々の選手の目標で、限界を超えれば、次の限界が生まれるのです。」

(オシム)

「中田は携帯電話のCMに出ているけど、30回かけても全然つながらない。」

(フィリップ・トルシエ)

《セミナー開催のお知らせ》

7月22日(火)[第一部：午前10時～12時、第二部：午後2時～4時]に東京で「オーストラリアへの投資・事業進出および永住権取得のためのセミナー」を開催いたします。

・会場：クィーンズランド・ビジネスセンター <http://qbconline.com/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-12 神谷町ビル 4F(東京メトロ日比谷線神谷町駅1番出口より徒歩1分)

TEL: 03-4540-6300 FAX: 03-3436-2760

セミナーへの参加お申込みは当社HPの「[無料お問い合わせ](#)」欄または当社へのお電話にてお願いします。

・お電話によるお申込み

03-4283-8484(日本から：8:00～16:00 月～金) 07-5570-4542(オーストラリアから9:00～17:00 月～金)

※上記電話はいずれもオーストラリアの休日はつながりませんのでご了承ください。



Go Australia Visa Consultant

ゴールドコースト事務所 住所: Suite no.222 Level 2 Watermark Hotel
3032 Surfers Paradise Boulevard Surfers Paradise QLD 4217
郵送先住所 PO Box 481 Isle of Capri QLD 4217
電話: +61-7-5570-4542, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)

ブリスベン事務所 住所: Level 4, 99 Creek Street, Brisbane QLD 4000
郵送先住所 P.O. Box 12257, George St, Brisbane QLD 4003
電話: +61-7-3040-2116, Fax: +61-7-3319-6131

E mail : info@goaustralia-visa.com Website : www.goaustralia-visa.com

<当社お問い合わせ電話番号>

日本から 03-4283-8484 日本時間 8:00～16:00 月～金(オーストラリアの祝日を除く)

オーストラリアから 07-5570-4542 オーストラリア時間 9:00～17:00 月～金(オーストラリアの祝日を除く)